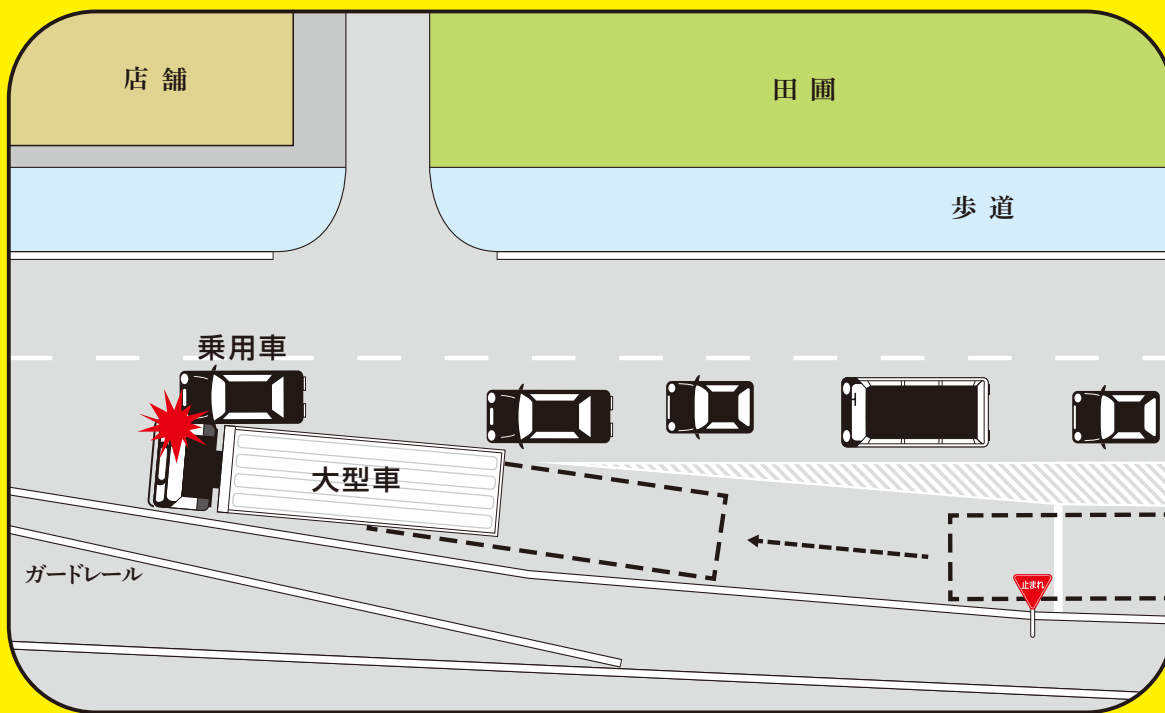


意識がぶつかれば車もぶつかる!

～渋滞している道路へ合流する時に接触した事故～



どのような場所か…

名神高速道路栗東インターチェンジから国道8号線へ合流する地点。事故当時、国道8号線は渋滞していた。

どのような事故か…

合流車の割り込みを嫌がる乗用車と高速道路から国道に合流しようとした大型車が接触。(大型車は道を譲ってくれたと誤認)

原因は……

「自分優先の意識」「譲ってくれた! そのチャンスを逃さない様に」と安全確認運転より自分の意思を前面に出してしまった。

この事故を防ぐためには…

気持ちのゆとり、特に渋滞時には寛容に

「一台を入れると何台も入る、車間を詰めて行こう」とする意識、「合流地点が終わる前に合流しよう」とする意識、それらがぶつかった時に車もぶつかっています。

進めない、割り込まれたくない、合流をさせてくれない、渋滞は危険なイライラで満ち溢れています。

進行方向の奪い合いより、イライラする気持ちを静めて、お先にどうぞ! という気持ちの方が、結果的には良い流れに乗れると思います。

《事故防止上の注意点》

車の流れを掴むより、流れを呼び込む技がプロドライバー!

- 今の流れを邪魔されたくない、今なら行けると言う意識が無理な運転となって現れます。
- 世知辛い競争社会の中で生活していても、譲って譲られての気持ちを忘れていなければ、自然と心穏やかで気持ちよく運転ができるのではないのでしょうか。
- 早く行こうとする運転ではなく、気持ちよく運転ができる流れを掴むのが、プロドライバーの運転です。



YONKOKYO

事故事例ニュース

第268号

四国交通共済協同組合
安全対策部

坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

交通ルール守るあなたが守られる

徳島県 (株)セイワ運輸 平野 陽大様